

しゃかいしほんそうごうせいびけいかく
社会資本総合整備計画

いずみしほくぶちくとしさいせいせいびけいかく
和泉市北部地区都市再生整備計画

おおさかふ いずみし
大阪府 和泉市

平成26年10月

都市再生整備計画(第4回変更)

和泉市北部地区地区
(地方都市リノベーション事業)

大阪府和泉市

平成26年10月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

様式1 目標及び計画期間

都道府県名	大阪府	市町村名	和泉市	地区名	和泉市北部地区(地方都市リノベーション事業)	面積	812	ha
-------	-----	------	-----	-----	------------------------	----	-----	----

計画期間	平成 24 年度 ~ 平成 27 年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 27 年度
------	---------------------	------	---------------------

目標

- ・市民ニーズの多様化・高度化、市民の自治意識の高まりなどを背景として、「(仮称)北部リージョンセンター」に図書館を併設することにより、生活利便性の向上と住民の活発な活動を促進する。
- ・歴史的資源を活用した魅力の向上を図る。
- ・地域住民誰もが学習できる環境づくりを目指す。
- ・地域的な市民交流やコミュニティ活動の活性化を図る。

目標設定の根拠

都市全体のリノベーション方針(都市構造再編を図るため、都市機能の拡散を防止する等の公的不動産のマネジメントも取り組みを含む)

都市計画マスタープランに基づき、本市を北西部地域、北部地域、中部地域、南部地域の4つの地域に区分し、それぞれの地域特性に合わせた「活力創出地域」「生活文化創出地域」「都市みらい創出地域」「うるおい空間創出地域」と位置付け、これらが連携することで個性を活かした本市の発展を目指すものとする。

本北部地域は、『生活文化創出地域』として位置づけられている地域であり、生活利便性、快適性の向上に重点を置いた各種生活関連施設整備・充実と既存の歴史資産などを活用した憩いと安らぎに満ちた地域づくりを進める地域となっている。

生活利便性の向上と住民の活発な活動を促す地域交流拠点として、行政窓口サービス機能、コミュニティ拠点機能、生涯学習拠点機能、図書館機能、防災拠点機能、情報発信機能などを備えた(仮称)北部リージョンセンターを平成24年度から平成26年度にかけて整備することにより都市機能の拡散を防止するとともに、人権・文化活動の拠点となる既存建築物である人権文化センターを整備する。また、府道大阪岸和田南海線と府道池上下宮線の沿道に、沿道サービス施設や後背の住環境保全に寄与する沿道中層住宅などの立地を誘導する。

まちづくりの経緯及び現況

- ・本地域は、和泉市の北部地域に位置し、古墳や社寺など数々の歴史的資源が残された地域である。また、他都市と連絡する幹線道路として、国道26号線、府道松原泉大津線が地域を通るとともに交通の拠点としてJR阪和線信太山駅及び北信太駅を有している。
- ・地域の土地利用では、信太丘陵や自衛隊用地を含む「その他」の土地利用の割合が高いため、同じ古くから開けたまちである北西部に比べて市街地の割合が低いのが特徴である。また、市街地内においても、一般市街地の割合が高く、住宅地としての性質が非常に強い地域である。
- ・本地域の都市施設については、サン燦プールや人権文化センター、府立弥生文化博物館などスポーツ・文化施設が比較的整備されている。また、史跡池上曾根遺跡の整備によりさらなる文化的な拠点となる施設の充実が図られるとともに、生活の利便性の向上と住民の活発な活動を促す地域交流拠点としてリージョンセンターの整備が進められている。

課題

- ・本市の区分された4地域のうち、当該地域のみ核となる図書館が整備されていない。
- ・本地域では現在、コミュニティ活動の拠点施設がなく、既存の自治会館を利用した町会・自治会単位のコミュニティ活動が行われている。そのため、地域コミュニティの広がりや相互交流を深められる地域交流拠点施設の整備が必要となっている。
- ・本地域には地域住民誰もが学習できる生涯学習拠点施設となる施設がないため、その整備が必要となっている。
- ・自然災害への備えに対する市民ニーズの他管理を見せしており、防災体制の充実が求められている。

将来ビジョン(中長期)

第4次和泉市総合計画では、「協働社会・地域コミュニティの仕組みづくり」を主要課題のひとつとして、地方分権の進展や自治体を取り巻く行政環境の変化、市民の自治意識の高まりなどを背景として、地域活動の拠点として市民が身近な公共施設を利用できる環境を整備する。また、大規模地震をはじめ、各種の災害に対応できるよう、関係機関との連携と防災時の体制を整備し、防災の補完機能を備えることにより、地域交流拠点の形成と誰もが安心して快適な日常生活を送ることのできる生活基盤の確保を図る。

リノベーション事業の計画

都市機能配置の考え方

北西部地域については、既存の公共施設の有効利用と都市的環境の整備を促進し、にぎわいと活気あふれた地域づくりを進める地域となっている。
 中部地域については、トリヴェール和泉の開発を中心とした新都心・地区拠点としての拠点の形成を目指した「和泉シティプラザ」が整備され、本市の「みらい」を象徴する顔となる地域となるように、都市環境を整備する地域となっている。
 南部地域については、地域住民の活動拠点となる「和泉市南部リージョンセンター」が整備されるとともに、豊かな自然を活かした活動拠点、あるいは地域活性化につながる整備拠点、都市住民を呼び込むような広域的なレクリエーション空間の形成を目指した地域となっている。
 北部地域については、生活利便性、快適性の向上に重点を置いた各種生活関連施設の整備と歴史的資源などを活用した憩いと安らぎに満ちた地域づくりを進める地域となっている。

目標を達成する上で必要な「地方都市リノベーション推進施設」「生活拠点施設」の考え方（民間事業者による事業継続の見込みや民間事業に対する行政の支援等を含む）

平成27年度オープン予定である、行政窓口サービス機能、コミュニティ拠点機能、生涯学習拠点機能、防災拠点機能、情報発信機能などを備えた「(仮称)北部リージョンセンター」に図書館を併設することにより、生活の利便性の向上と住民の活発な活動を促すとともに、地域の歴史・文化を広める地域交流拠点とする。

地方都市リノベーションに必要となるその他の交付対象事業等

コミュニティ拠点機能、生涯学習拠点機能等をもつ地域交流センター、行政窓口サービス機能をもつサービスセンター、防災機能をもつ備蓄倉庫を複合施設として整備することで、さらに地域交流の活性化、生活利便性の向上が図られる。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
図書館利用回数	回	市民1人当たりの図書館利用回数	図書館を利用している人の増減を示す。	2.03	H22	2.8	H27
図書館資料貸出点数	点	市民1人当たりの図書館資料貸出点数	市民が読書に親しんでいるかを示す。	7.11	H22	8.9	H27
地域交流拠点施設の利用割合	%	市民アンケート調査	市民が身近な施設を利用した地域コミュニティ活動の取り組み状況を示す。	24.77	H22	40	H27
避難場所を把握している市民の割合	%	市民アンケート調査	市民の防災意識の変化を示す。	74.77	H22	93	H27

様式2 整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【生活利便性、快適性の向上と地域交流の活性化】 平成27年度オープン予定である、行政窓口サービス機能、コミュニティ拠点機能、生涯学習拠点機能、防災拠点機能、情報発信機能などを備えた「(仮称)北部リージョンセンター」に図書館を併設することにより、生活の利便性の向上と住民の活発な活動を促すとともに、地域の歴史・文化を広める地域交流拠点とする。</p>	<p>地方都市リノベーション推進施設：図書館 高次都市施設：地域交流センター</p>
<p>【防災体制の充実】 災害避難地となる小・中学校と連携する防災拠点支援施設として位置づけ、防災拠点と同程度の備蓄倉庫を設置することで、周辺避難地へ不足物資の提供を行うとともに、ボランティア受付所や救援物資の集配地機能など、機能分担を行う。</p>	<p>地域生活基盤施設：備蓄倉庫</p>
<p>【地域交流の活性化の補完】 図書館・地域交流センターに併設した多目的グラウンドでは、従来より地域住民で行われたグラウンドゴルフの利用のほか、イベント等目的を限定せず多目的な交流を図れる空間とし、さらなる地域交流の活性化を促進する。</p>	<p>効果促進事業：多目的グラウンド</p>
事業実施における特記事項	
<p>○図書館の活用について ・自習室や幼児コーナーを併設し、読み聞かせ教室やこどもを対象としたイベントの開催など、あらゆる世代が気軽に利用できる施設とする。</p> <p>○地域交流センターの活用について ・地域交流センターは、地域住民が地域集会などを行えるスペースとするほか、多目的室では、地域住民が様々な生涯学習活動を行える施設とする。 ・地域の文化・歴史などをPRするスペースや地域住民が自由に集えるスペースとして、ホワイエを設ける。 ・地域交流センターに併設した多目的グラウンドでは、従来より地域住民で行われていたグラウンドゴルフでの利用のほか、イベント等目的を限定せず多目的な交流を図れる空間とする。</p> <p>○事業終了後の継続的なまちづくり活動 ・市民と行政の協働による施設利用促進のための取り組みを行う。</p>	

都市再生整備計画の区域

和泉市北部地区(大阪府和泉市)	面積	812 ha	区域	伯太町、伯太町四丁目、池上町、池上町一丁目、幸一～三丁目、山手町、舞町、尾井町、太町、富秋町、上町、旭町、葛の葉町、上代町、王子町、小野町、鶴山台一～四丁目
-----------------	----	--------	----	--------------------------------------------------------------------------------

